

快適に使用していただくために

取扱説明書

ココマ

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	7
3.ご使用方法	10
3-1 落し棒の操作方法	10
3-2 折戸パネルの操作方法	11
3-3 錠の操作方法	12
3-4 換気用窓の操作方法(オプション)	13
3-5 ロールスクリーンの操作方法(オプション)	14
3-6 可動ルーバーの操作方法(オプション)	15
3-7 ローマンシェードを安全に使用していただくために	15
3-8 トランス電源ユニット25Wの使用方法(オプション)	16
3-9 製品のご注意とお願い	16
4.お手入れについて	17
5.修理を依頼する前に	25
6.修理	25
7.LED照明ユニットの仕様	26
8.別売り品	26

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

1 安全のために必ず守ってください

警告



- 照明器具を分解・改造したり、部品の交換をしないでください。火災・感電・落下によるケガの原因になります。

警告



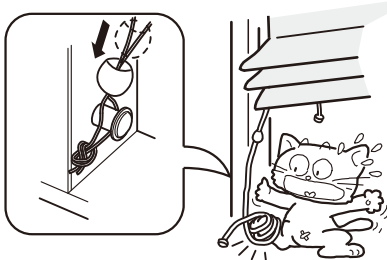
- 製品内（屋根・パネルで囲んだ内部）で石油暖房機を使用しないでください。排気ガスによる中毒のおそれがあります。

警告



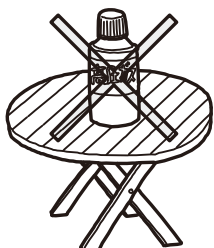
- 折戸パネルおよびフィックスパネルのガラス仕様は3mmのフロートガラスを使用していますので、直接衝撃などを与えないでください。破損すると重大なケガのおそれがあります。

警告



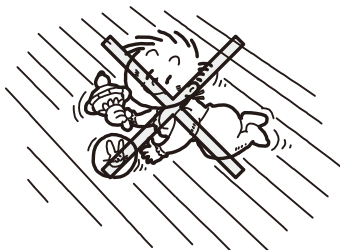
- ローマンシェードのヒモは安全ジョイントでつなげていますが、閉めた時・開いた時にヒモをたれ下げたままにしないで、必ずヒモフックにしっかり固定してください。小さなお子様やペットにからみつき、危険な場合があります。

注意



- 日中、日差しが強いときに、カセットコンロ用ボンベなどの高圧ガスを使用した可燃性製品は置かないでください。破裂してケガをするおそれがあります。

! 注意



- 乳幼児を1人で遊ばせないでください。日中、日差しが強いとき等、折戸パネルを閉じるとパネル内の温度が上がって危険です。また、木部のササクレや下レールのつぎ目などでケガをするおそれがあります。

! 注意



- デッキの上では、必ず履き物を履いて利用してください。裸足は大変危険です。日中、日差しが強いときに裸足で歩くとやけどをするおそれがあります。

! 注意



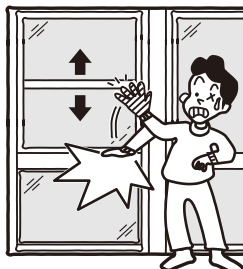
- 折戸パネルやフィックスパネルに寄りかかったりしないでください。
破損してケガをするおそれがあります。

! 注意



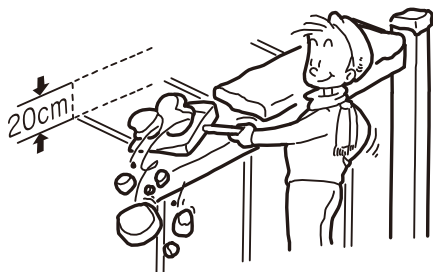
- 折戸パネルを開閉しているとき、パネルとの間にはさまれないように注意してください。

! 注意



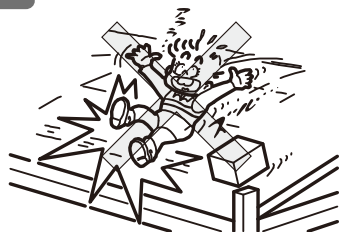
- 前面上げ下げ窓を閉めるとき、下枠と窓の間に手や指をはさまないように注意してください。

⚠ 注意



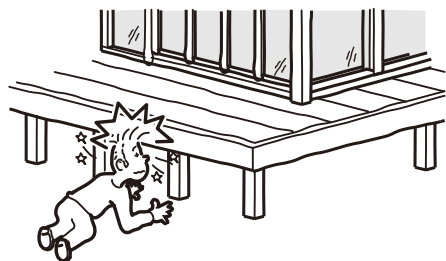
- 屋根材の上に積雪が20cmを超える前に雪おろしをしてください。屋根材が雪の重さで破損してケガをするおそれがあります。
 - ・ 積雪量は、積雪1cmあたり3kg/m²として算出しています。湿った雪ではこれより重くなる場合がありますので、早めに雪をおろしてください。
- 積雪地仕様の場合は積雪が50cmを超える前に雪おろしをしてください。

⚠ 注意



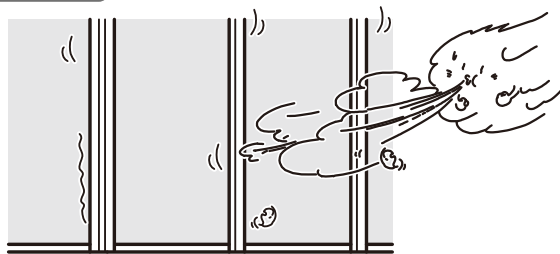
- 屋根の上に乗らないでください。また、重量物を載せたり、柱にぶらさがらないでください。落ちてケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- 床下に入らないでください。突起物でケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- ガーデンルームタイプの場合、台風など強風が吹くときは、折戸パネルを必ず全閉にしてロックしてください。パネルが破損したり、屋根材が飛んでケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



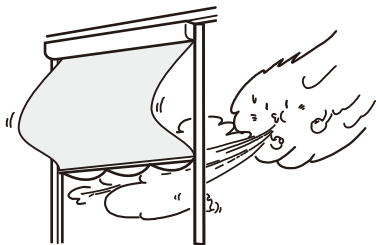
- パイプに寄りかかったり、フックロープに物をぶら下げないでください。ロールスクリーンが破損してケガをするおそれがあります。

! 注意



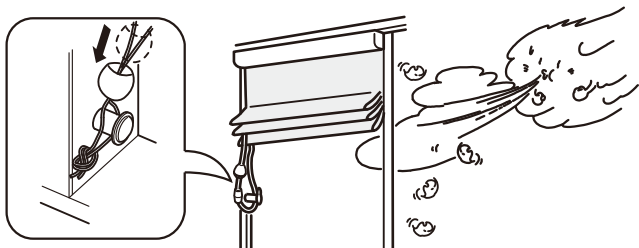
- 夜間および留守にする場合は、安全のためにロールスクリーンを必ず収納してください。

! 注意



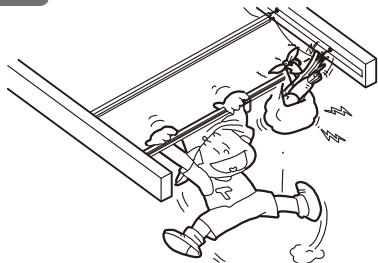
- 風の強い日は、ロールスクリーンを収納してください。
スクリーンの生地や本体が破損してケガをするおそれがあります。

! 注意



- 風の強い日は、ローマンシェードのヒモを引っ掛けフックに確実に止めてください。

! 注意



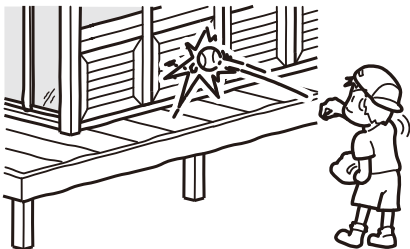
- 内部日除けに物をぶらさげたり、乗ったり、ぶらさがったりしないでください。落下してケガをするおそれがあります。

! 注意



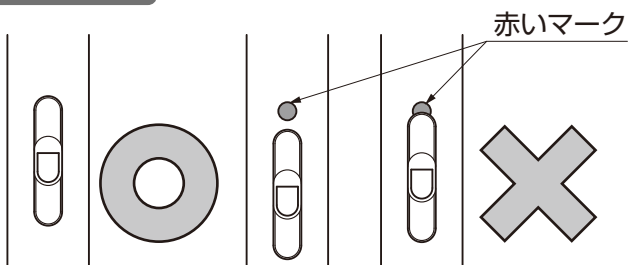
- 可動ルーバーに指をはさまないように注意してください。

! 注意



- 可動ルーバーにボウルをぶつけるなど強い衝撃を加えないでください。部材が変形・破損したり、ケガをするおそれがあります。

! 注意



- 折戸パネルを動かすときは、取っ手を上げた状態（赤い表示が見えない状態）で操作してください。取っ手を下げた状態で操作すると折戸パネルが破損し、ケガをするおそれがあります。
- 折戸パネルの落とし棒は、上下連動します。

! 注意



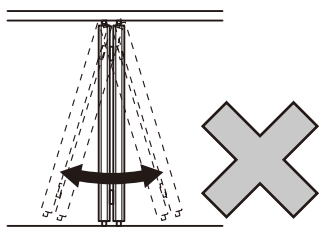
- 折戸パネルを移動したり、開閉するときは、手早い（手早い）操作をさけ、必ず両手で行なってください。折戸パネルが破損しケガをするおそれがあります。

! 注意



- 折戸パネルが動かない下記のような状態で無理に折戸パネルを開閉しようとしたり、強い衝撃を与えないでください。パネルが破損するおそれがあります。
 - ・落とし棒が落ちている時
 - ・積雪時
 - ・凍結時

! 注意



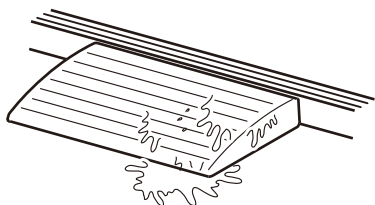
- 折戸パネルをたたんだ状態で傾けないでください。折戸パネルが破損しケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- パネルスクリーンの枠に寄りかかったり、物をぶら下げないでください。
パネルスクリーンが破損してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



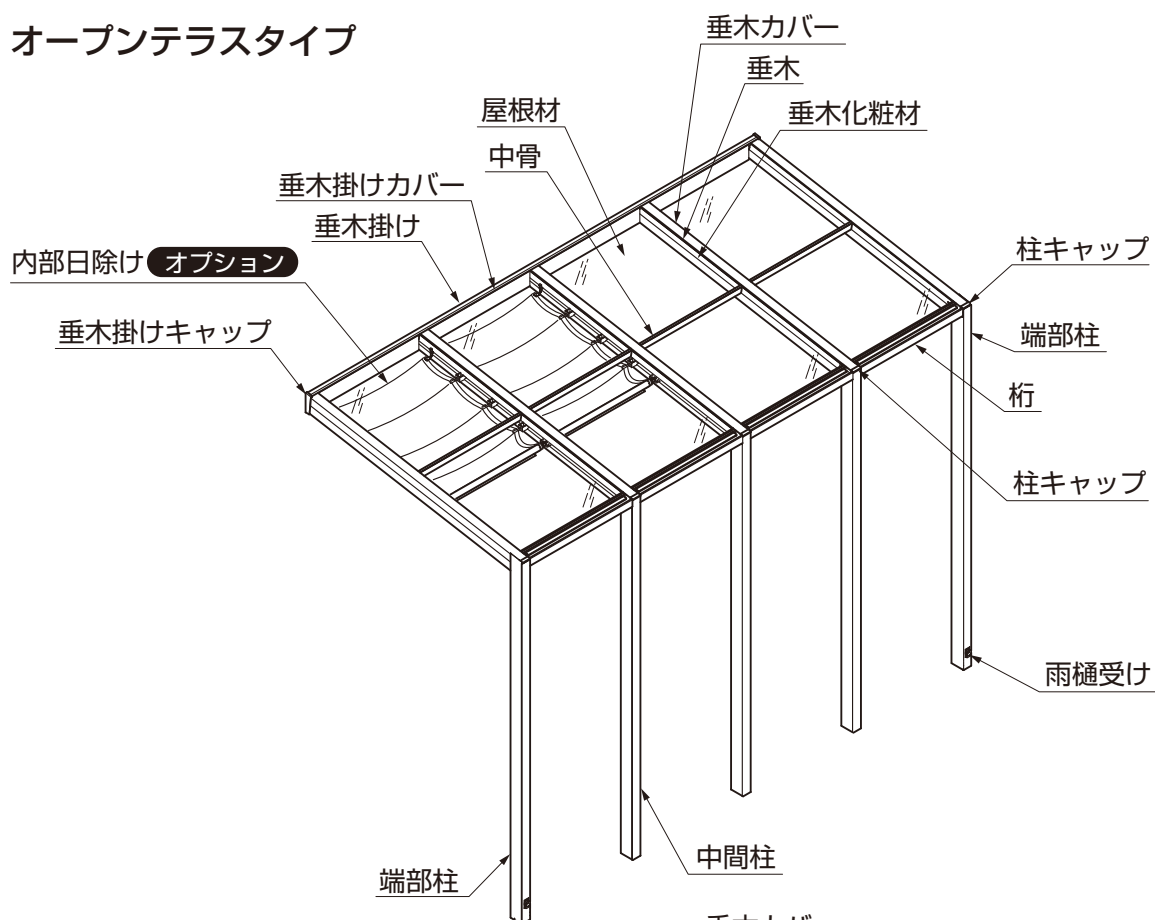
- 濡れたスロープ上はすべりやすいので注意してください。転倒などでケガをするおそれがあります。

お願い

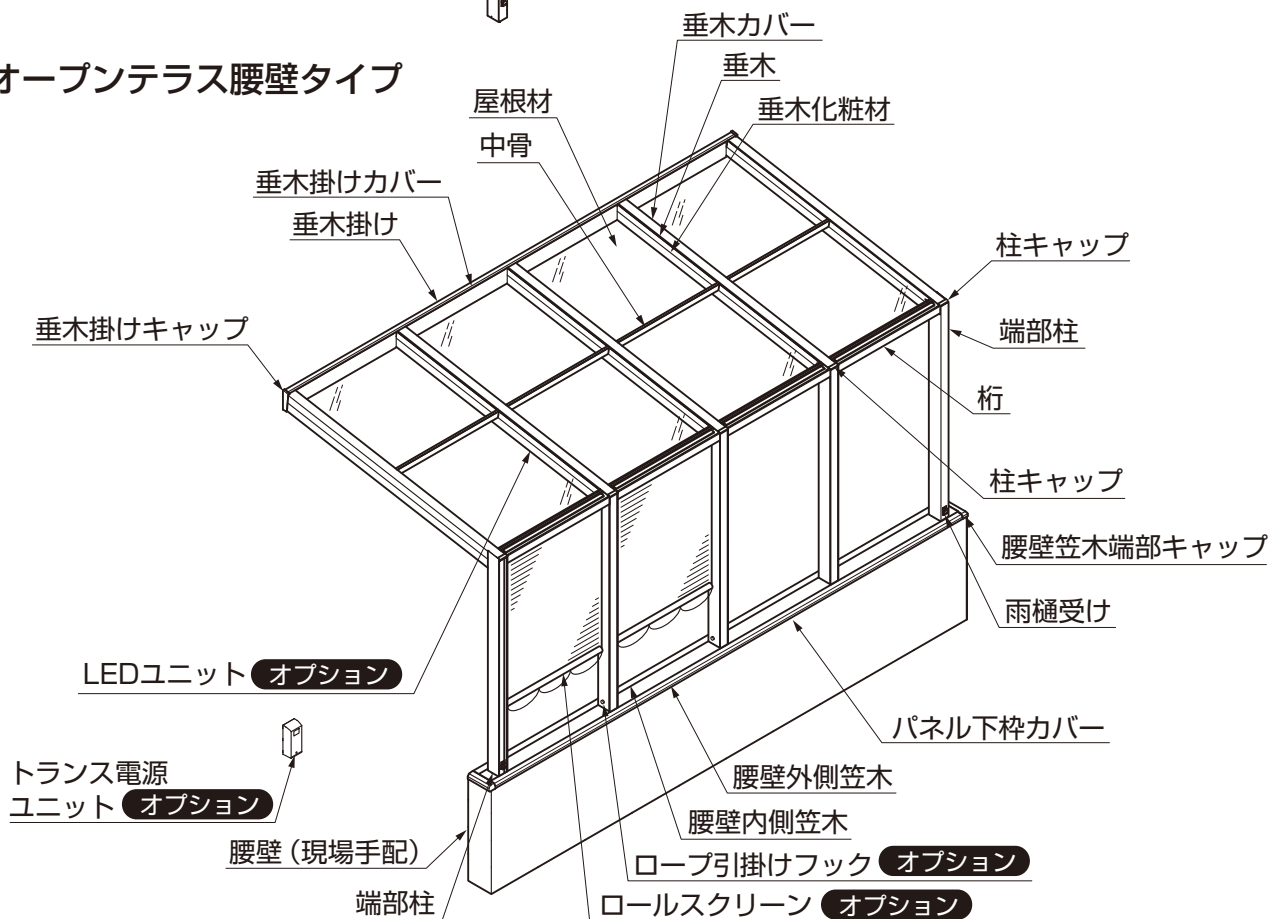
- ココマの中に入れた電気製品やソファ等、日当たりの良い場所では「日焼け」により、色あせ等を起こすことがありますので、注意してください。
- ココマは屋内空間のような水密気密性能はありません、結露水が落水することもあります。ココマ内で使用するファニチャー・電気製品は性能を確認したうえで使用してください。
- 下レールをけとばしたり、踏みつけたりしないでください。変形すると、折戸パネル開閉ができなくなります。
- 雨が降っている時は、折戸パネルを閉めてください。雨の日に折戸パネルを折りたたんだ状態のまま放置すると、折戸パネル内部に水がたまり、作動不良の原因になります。

2 各部の名称

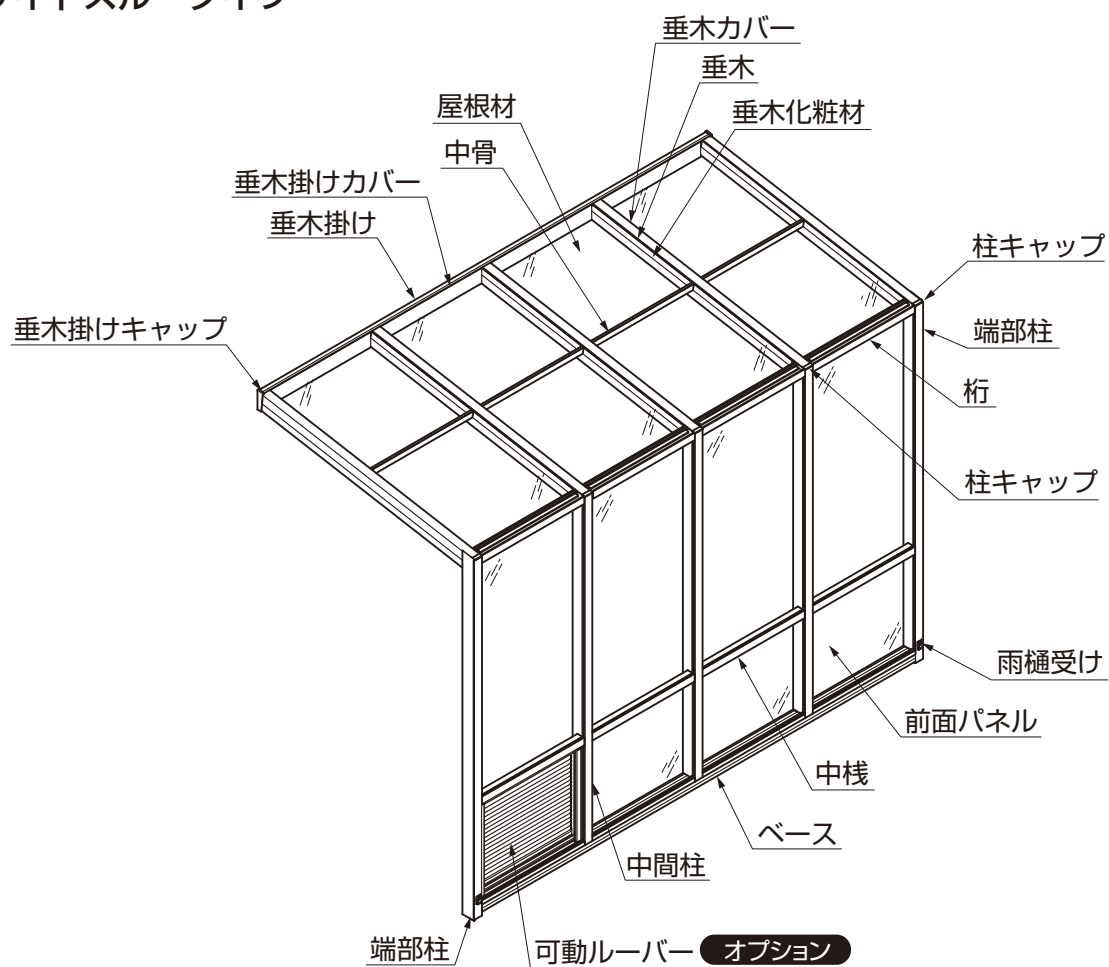
(1) オープンテラスタイプ



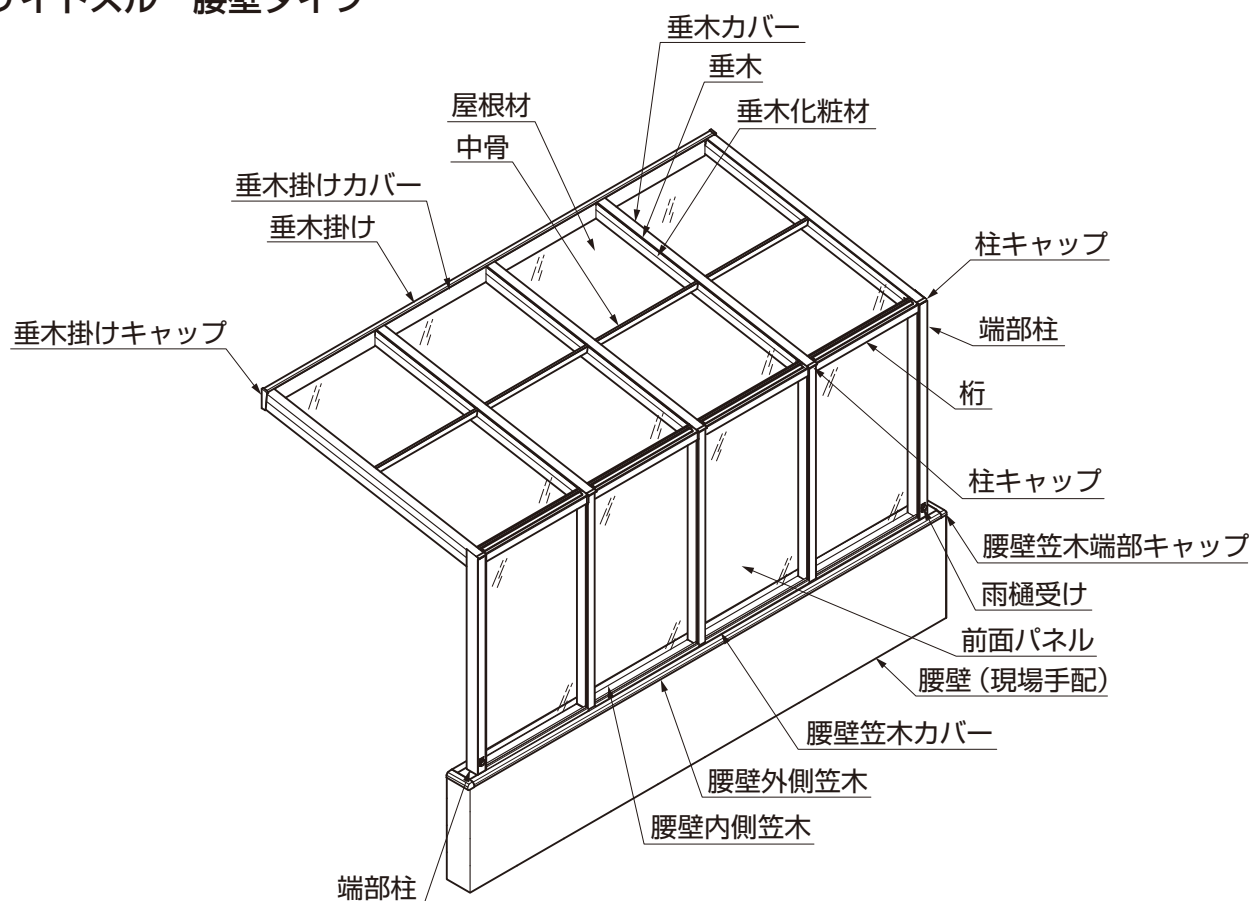
(2) オープンテラス腰壁タイプ



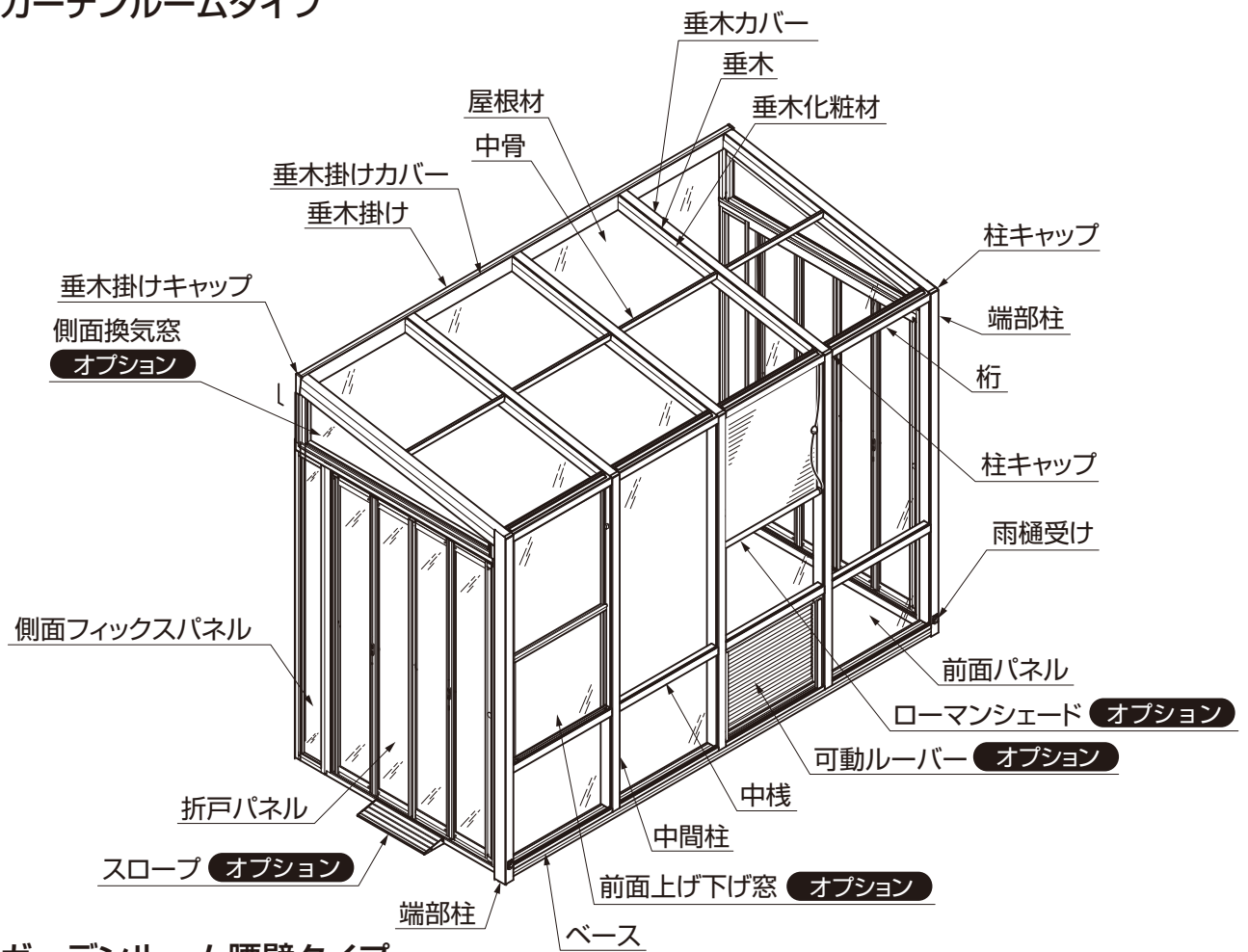
(3) サイドスルータイプ



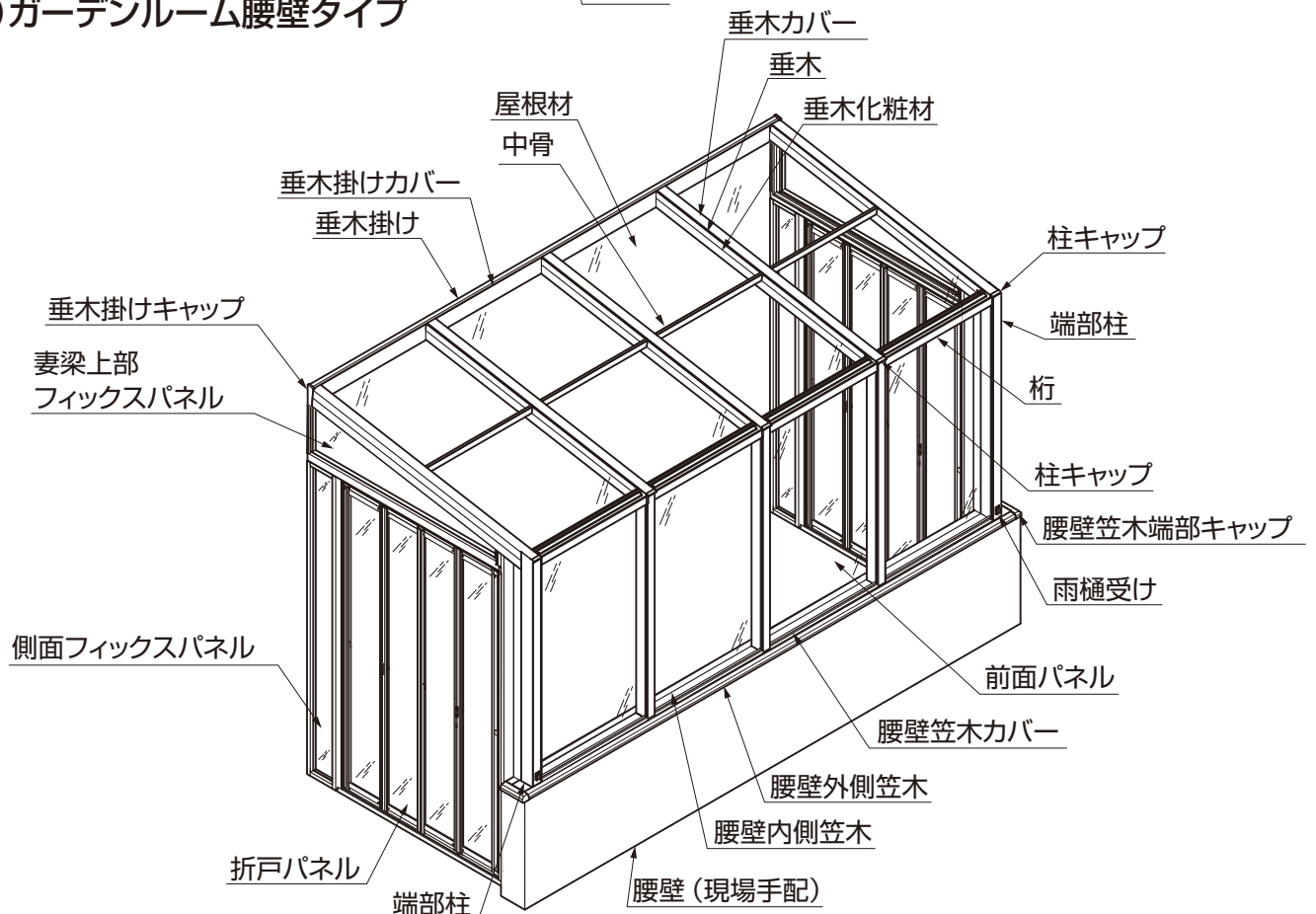
(4) サイドスルー腰壁タイプ



(5) ガーデンルームタイプ



(6) ガーデンルーム腰壁タイプ



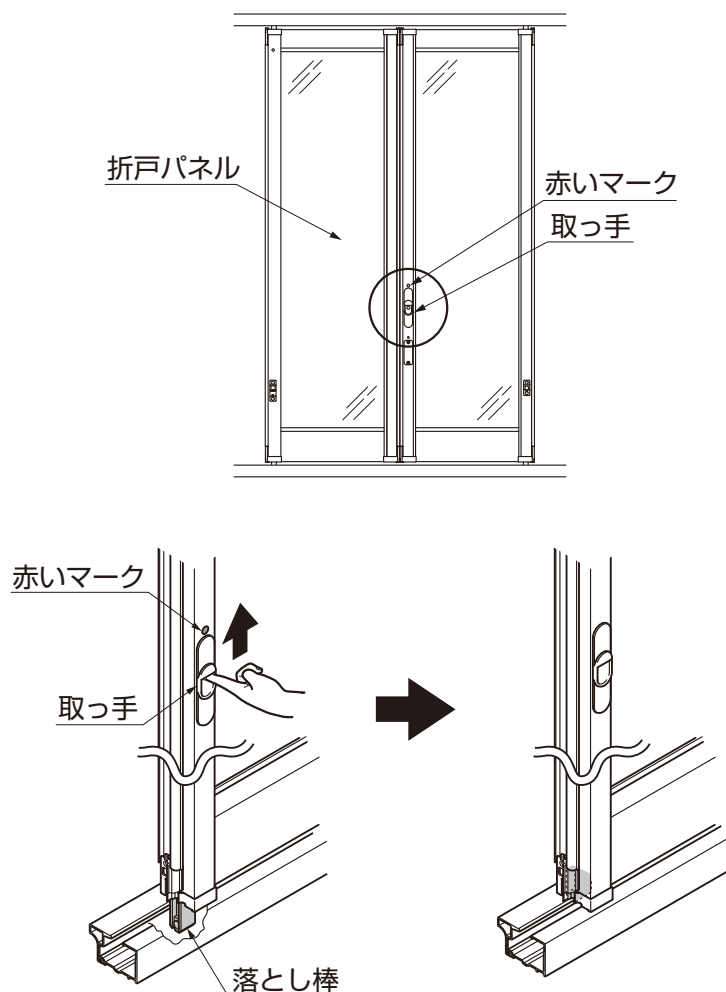
3 ご使用方法

お願い

- 各折戸パネルを開けたり、移動する前に必ず落とし棒を解除してください。

3-1 落とし棒の操作方法

(1) 落とし棒の解除方法



補足

- 赤いマークが見えないときは、落とし棒が解除されています。

- ①折戸パネルの取っ手を動かなくなる位置まで上げます。

(2) 落とし棒の固定方法

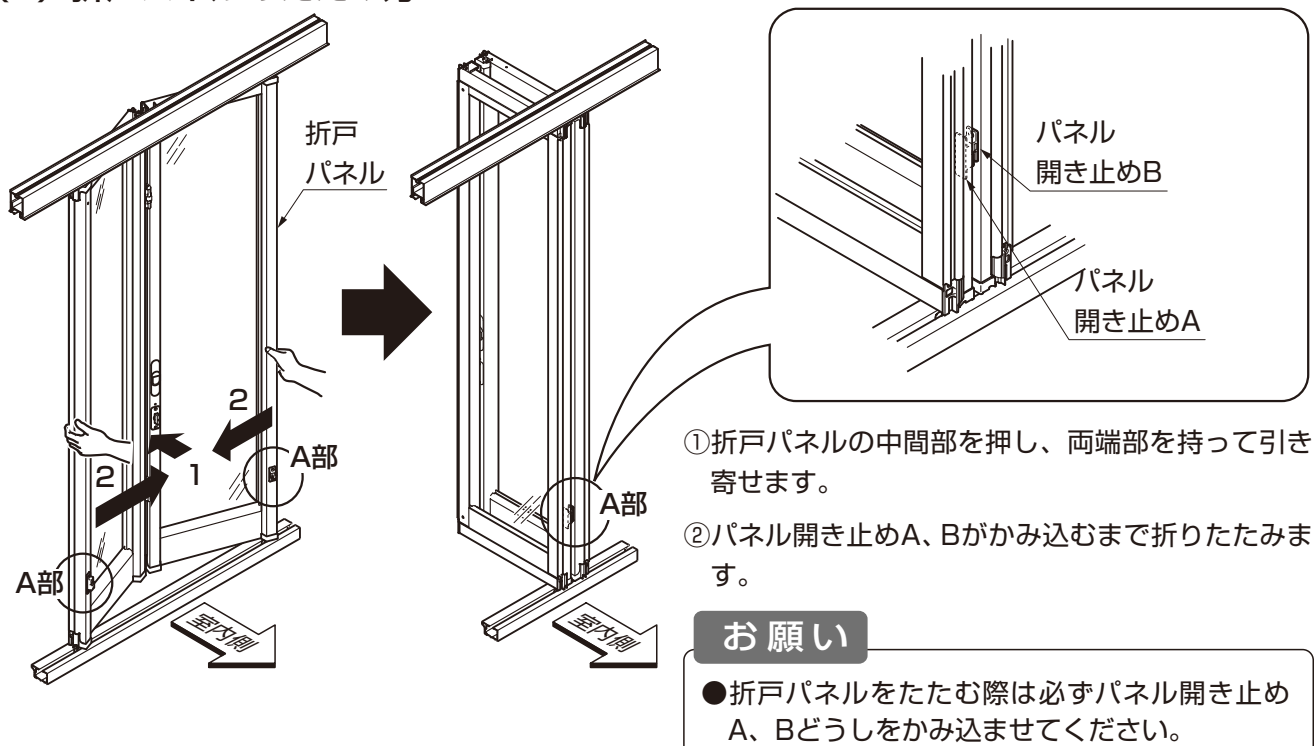
補足

- 赤いマークが見えるときは、落とし棒がロックされています。

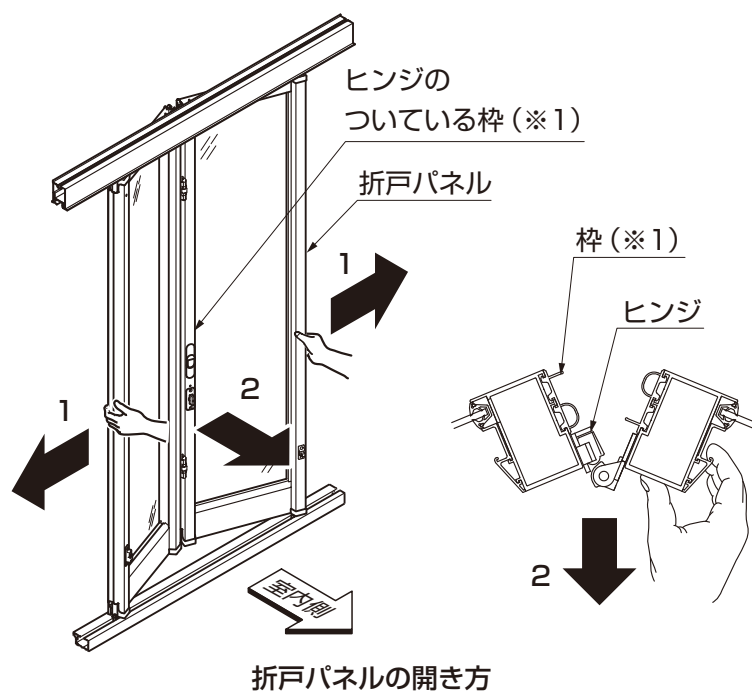
- ①折戸パネルの中央部の取っ手を動かなくなる位置まで下げます。

3-2 折戸パネルの操作方法

(1) 折戸パネルのたたみ方



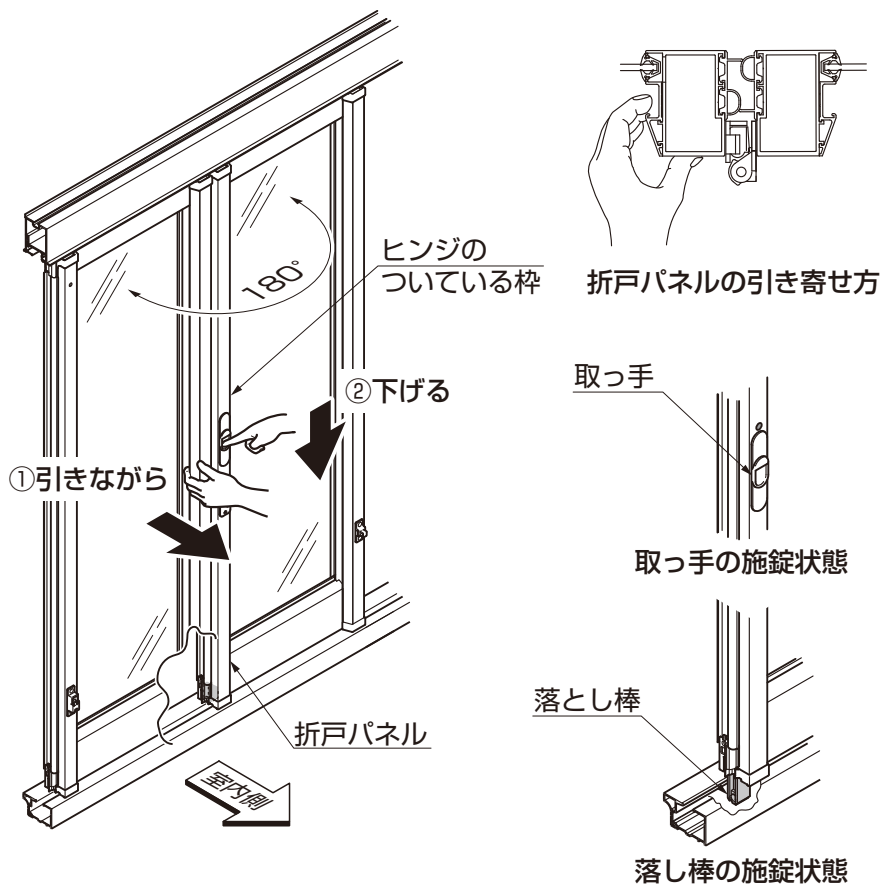
(2) 折戸パネルの開閉方法



折戸パネル開き方

- ①折戸パネルの両端を持って左右に開きます。
- ②折戸パネルのヒンジがついている枠のガラス側を持って引き寄せます。(※1)

3-3 錠の操作方法

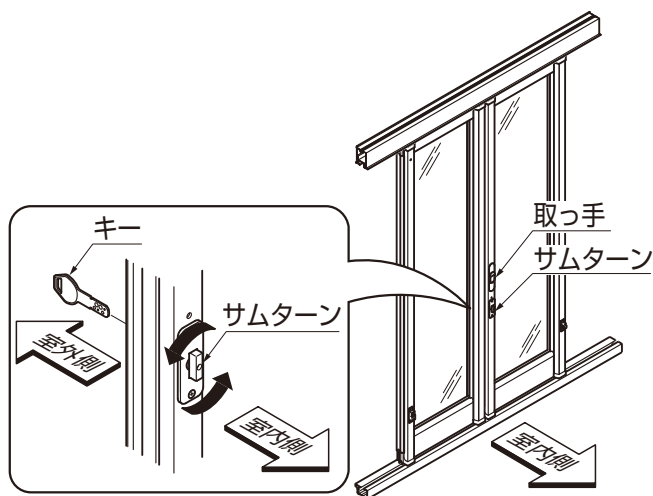


①折戸パネルのヒンジのついている枠を引き寄せ、折戸パネルをいったん180度よりも少し手前に引き寄せてください。

②折戸パネルを180度の状態に保ちながら、取っ手を下げて落とし棒を下げてください。

お願い

●①は、折戸パネルを上レールの止水ビートよりも内側にするための手順です。折戸パネルの引き寄せが不十分だと、取っ手が十分下がりきらず、錠が正確に施錠できない場合があります。

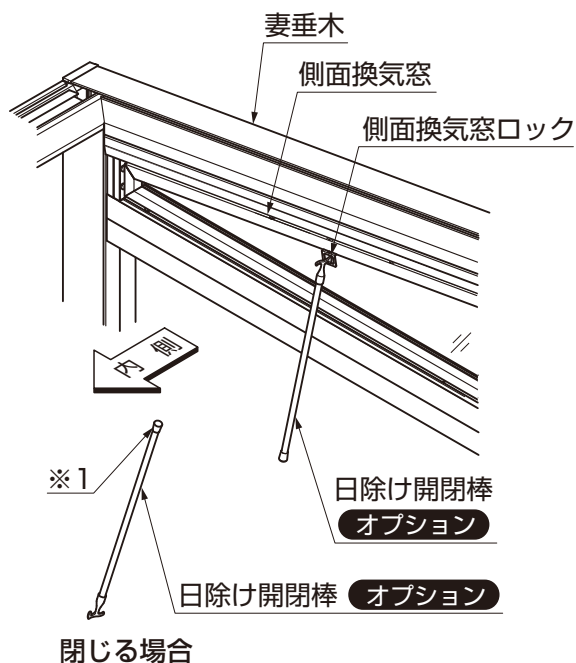


③室内側の取っ手下に付いているサムターンを右に90°回して施錠します。室外側からは、キーを左に90°回して施錠します。キーは差込んだ状態に戻せば抜き取れます。

④開錠は③と逆の手順で行ないます。

3-4 換気用窓の操作方法（オプション）

（1）側面換気窓



- ①側面換気窓の内側に付いている側面換気窓ロックに日除け開閉棒などの棒を引っ掛けます。
- ②引っ掛けた棒を下げ、手前に引くとロックが外れ、換気窓が開きます。
- ③側面換気窓を閉じるときは、日除け開閉棒の持手部でロック上部の枠を押してください。（※1）

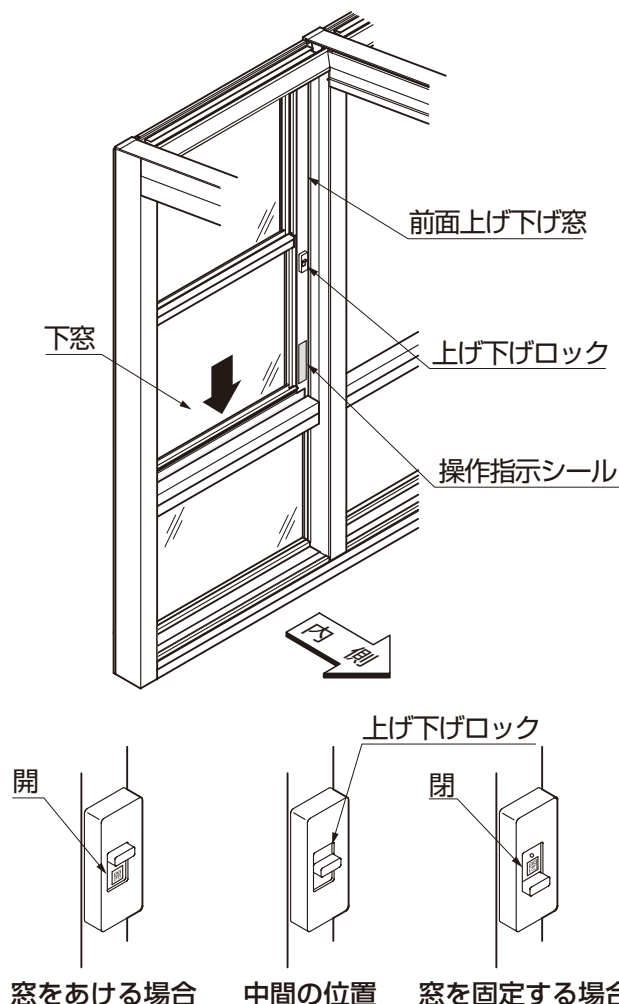
お願い

- 必ず棒を利用して開閉してください。開閉しにくくなります。
- 強風時に自然に閉じる場合があります。必要に応じて、換気窓を開けてください。

補足

- 日除け開閉棒は **オプション** です。

（2）前面上げ下げ窓



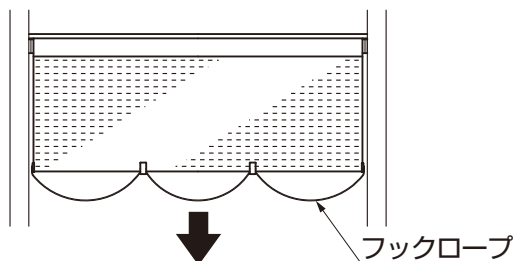
- ①前面上げ下げ窓の操作を行なう場合は必ず上げ下げロックのツマミを一番上「開」の位置まで持上げて操作を行ないます。
- ②半開の状態で固定する場合は、前面上げ下げ窓を全開にしてから上げ下げロックを中間の位置にし、ゆっくり窓を下げていくと半開状態の固定位置で窓がロックします。
- ③再び開閉操作を行なう場合は、ロックを「開」の位置にし操作します。
- ④全閉時にロックを操作する場合は下窓を下に押し付けながら操作してください。

お願い

- 前面上げ下げ窓のロックは全閉時と半開時で固定できます。上げ下げロックの下にある操作指示シールを参照し、操作を行なってください。
- 上げ下げロックを「閉」の位置で上げ下げ窓を閉めないでください。ロックにパネルがあたり、破損の原因になります。

3-5 ロールスクリーンの操作方法（オプション）

（1）ロールスクリーンの降ろし方

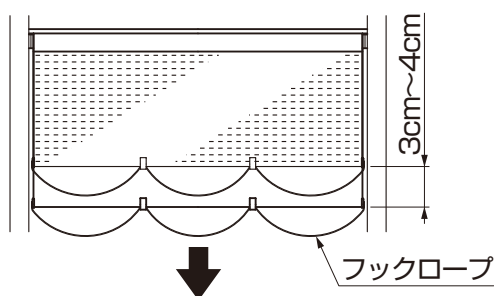


- ①日除け開閉棒で、フックロープを下に引いて離すと止まります。

お願い

- 操作は垂直に行なってください。斜め操作は巻ずれの原因になります。
- 巻ずれが発生したときは、布地を最後まで引出し、左右が均等になるようにゆっくりと巻戻してください。

（2）ロールスクリーンの上げ方

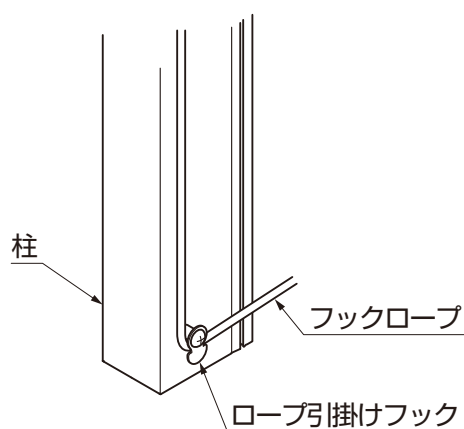


- ①フックロープを3cm～4cm下に引いて、手を離すと上がります。

お願い

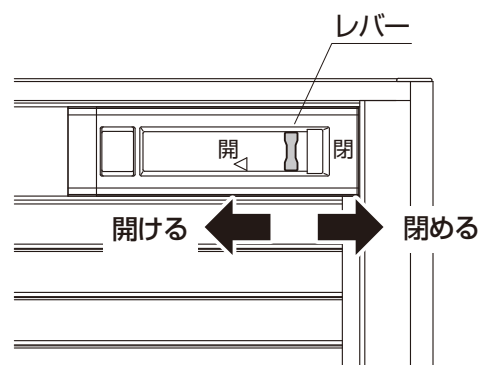
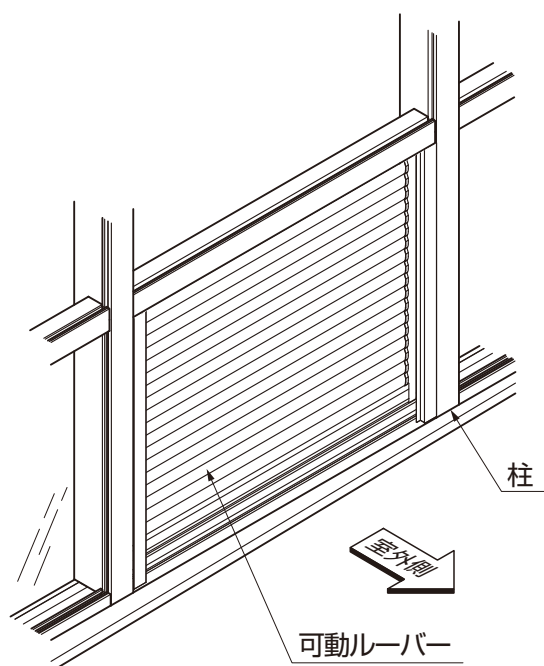
- 操作は垂直に行なってください。斜め操作は巻ずれの原因になります。
- 付着した雪やみぞれ等は取除いてください。
- スクリーン生地は美しく保つため、雨の日の使用を避けてください。

（3）ロールスクリーンの固定の仕方



- ①フックロープを引いて、スクリーンを一番下まで下げます。
②フックロープを、ロープ引掛けフックに引掛けます。
③フックロープを3cm～4cm下に引いて手を離します。

3-6 可動ルーバーの操作方法（オプション）



- ①室内側にあるレバー左右にずらすとルーバーが開閉します。

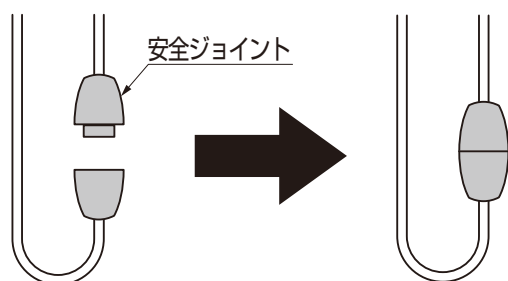
お願い

- 雨の日は、必ず可動ルーバーを閉めてください。ココマ室内に雨が浸水する場合があります。

3-7 ローマンシェードを安全に使用して頂くために

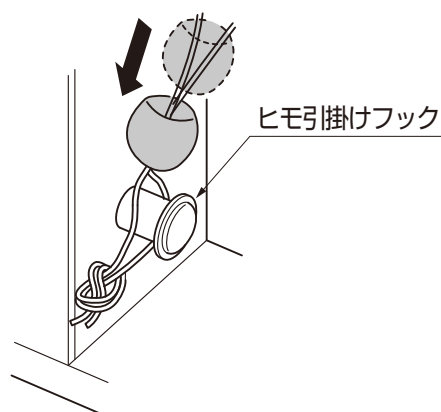
警告

- ローマンシェードには昇降操作するための操作コードを付属しておりますが、それが思わぬ事故を招く恐れがあります。回避する為に「安全ジョイント」を装備しております。



警告

- 危険を回避するため、昇降コードを分離させるための部品です。



警告

- 操作コードに首や体を巻き付けて、思わぬ事故を招くことを防止するための部品です。操作されないときは、操作コードをヒモ引掛けフックに巻いて留めてください。

3-8 トランス電源ユニット25Wの使用方法（オプション）

①トランス電源ユニット25Wに付属の取扱説明書をご参照ください。

3-9 製品のご注意とお願い

警告

- LED照明ユニットの近くに温度が高くなる物を置かないでください。火災の原因になることがあります。

注意

- 錠は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことができなくなります。
- パネルの近くに物を吊さないでください。強風時および開閉時にパネルに当たり、破損の原因になります。
- 雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり、キズが付く原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行なってください。
- デッキ上で暖房器具、バーベキューコンロを使用しないでください。部材が変形・破損するおそれがあります。
- ロールスクリーン、内部日除けの近くで火を燃やしたり、加熱しないでください。ロールスクリーンが溶けたり変形するおそれがあります。

お願い

- 錠穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。スムーズに動かなくなったら、シリコン専用潤滑剤を錠穴に注入してください。油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
- ロールスクリーンは風の強い日には、使用しないでください。スクリーンの生地や本体が破損するおそれがあります。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- 製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
- 弊社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- ボルト、ナット、ネジ等は絶対にゆるめないでください。
- 小鍵はメーカー純正のものを使用してください。
- 人工木材の場合は床板一枚に常時掛かる重量が10Kgを超えるものを置かないでください。
- デッキ上に木製家具等を長期間置くと色褪せ、反りが生じることがありますのでご注意ください。
- ロールスクリーンの昇降動作の範囲内に破損のおそれがある物や、操作の障害となる物を置かないでください。

補足

- 渡り配線ケーブルを複数連結した場合、連結数が増えるほど、電圧降下のため明るさが若干低下します。
- ロールスクリーンと内部日除けのスクリーン生地の材質は、ポリエステル100%防炎タイプです。
- ロールスクリーンと内部日除けは、素材の特性上多少の色あせ等は発生します。

4 お手入れについて

(1) 前面フィックスパネル、折戸パネルなどの清掃



お願い

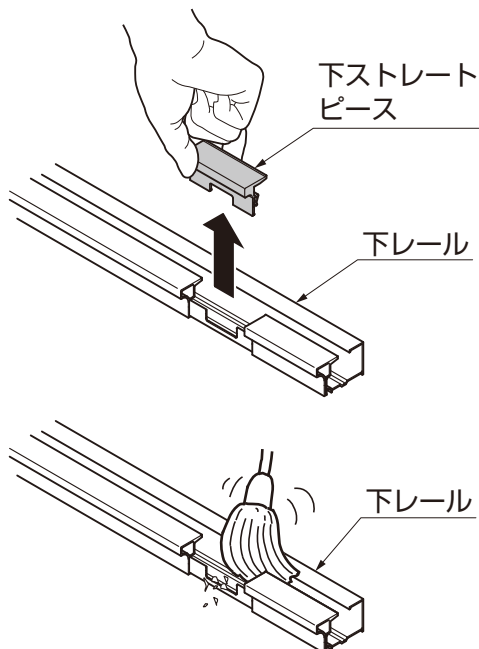
- ガラスパネルの清掃
 - ・ 市販のガラスクリーナーを使用して、柔らかい布などで拭き取ってください。
- ポリカーボネートパネルの清掃
 - ・ お手入れのときはキズ防止のため、水に濡らした柔らかい布などで拭き取ってください。
 - ・ シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。

補足

- ポリカーボネートの擦れキズについて
 - ・ ポリカーボネートはとても擦れキズのつきやすい材質です。擦れキズを防ぐために、市販のポリカーボネート用のコーティング剤を使用することをおすすめします。ポリカーボネート表面を保護、光沢保持することができます。また、既についてしまった擦れキズをある程度目立たなくすることができます。

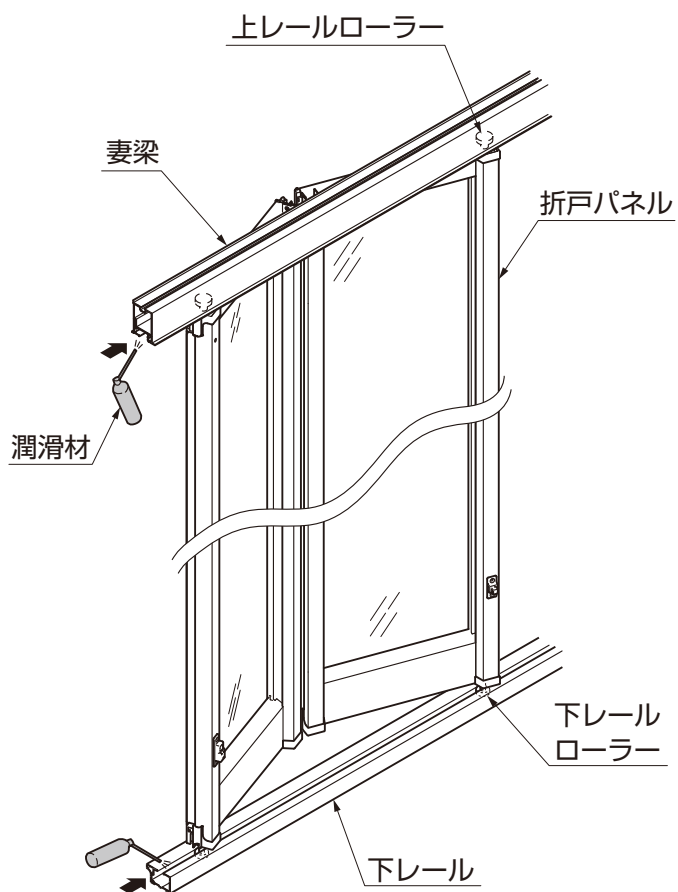
- ①年に2～3回水洗いをして拭き取ってください。
- a. 汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
 - b. 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭き取ってください。

(2) 下レール溝内の清掃



- ①下レールの溝内にゴミ、小石などがつまって折戸パネルがスムーズに動かない場合は、定期的に清掃してください。
- ・ 下ストレートピースを引き上げ、引き上げた箇所からゴミを掃き出してください。

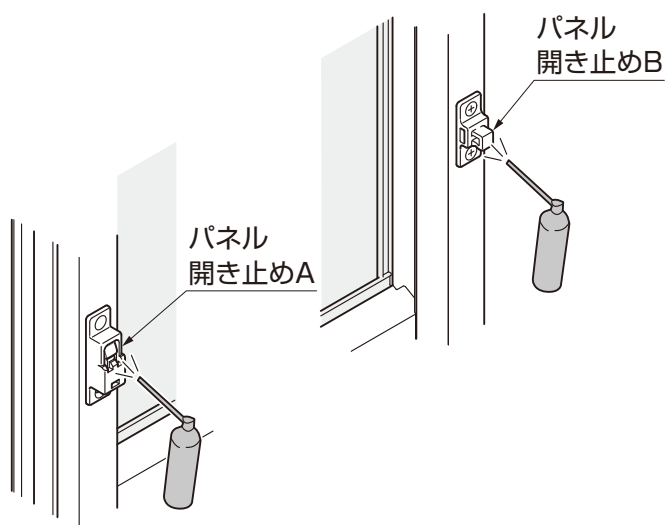
(3) 折戸パネルのお手入れ



- ① 折戸パネルの開閉がスムーズでなくなったときは、市販のスプレー式潤滑剤 (シリコン系) を、各箇所 (矢印部) に2～3秒吹き付けます。

補足

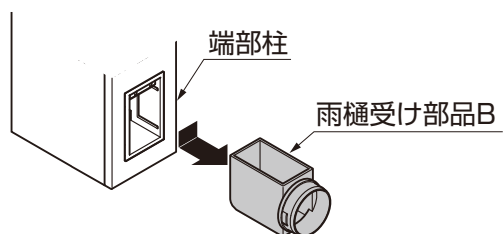
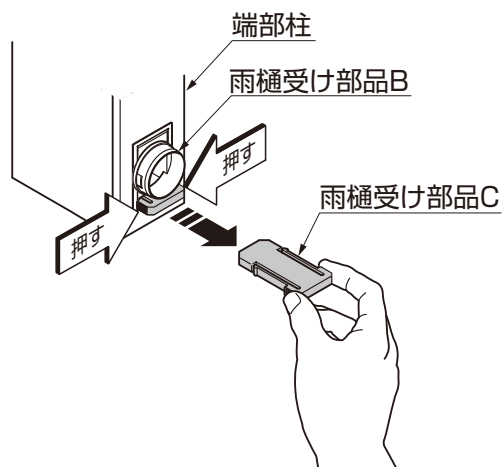
- 必ずシリコン系潤滑剤をご使用ください。
シリコン系以外の潤滑剤を吹き付けるとローラーの割れの原因になります。



- ② 折戸パネルを折りたたんだときに、パネル開き止めA、Bの接合部分がうまく噛み合わない場合は、シリコン系潤滑剤を吹き付けてください。

(4) 雨樋の清掃

前面排水の場合



お願い

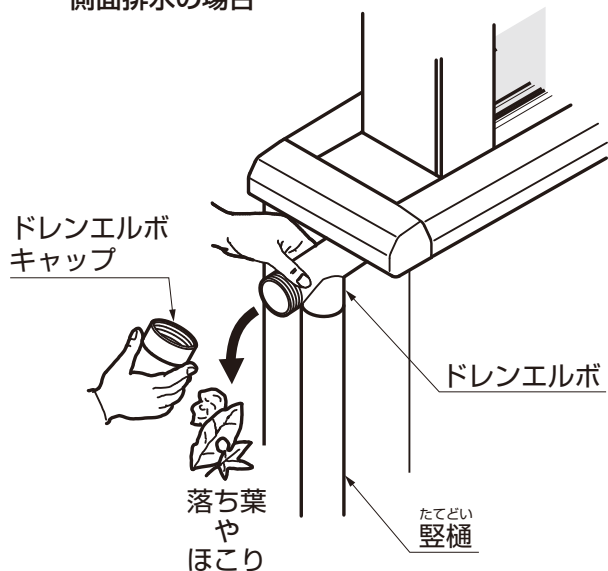
- 雨樋の中に枯葉、ゴミなどがつまって雨水がたまってしまう場合は、定期的に掃除してください。

① 雨樋受け部品Cを取外します。

② 雨樋受け部品Bを下にさげ、端部柱から取外します。

③ 掃除後は取外した部品を元の位置に組付けます。

側面排水の場合



⚠ 注意

- ドレンエルボキャップを取外すとき、ほこりや泥水があふれ落ちるおそれがあります。衣類につかぬよう、また目や口に入らぬように注意してください。

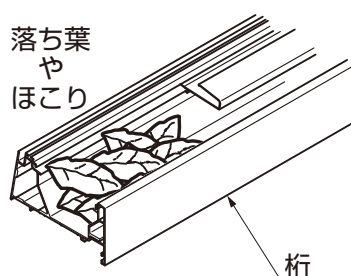
① ドレンエルボキャップを回転しながら取外し、たまった落ち葉やほこりを取除いてください。

② 落ち葉やほこりを取除いた後は、両手でしっかりと取付けてください。

お願い

- 樋がつまると雨水が雨樋からあふれ落ちますので、樋にたまった落ち葉やほこりは定期的に取り除いてください。

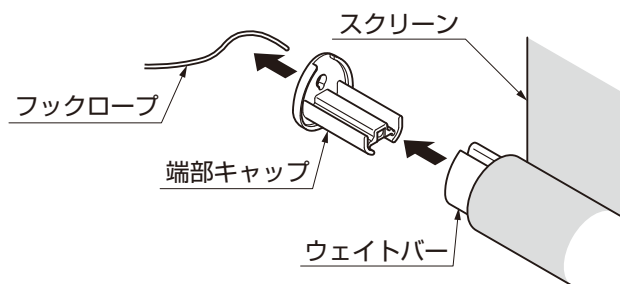
(5) 桁の清掃



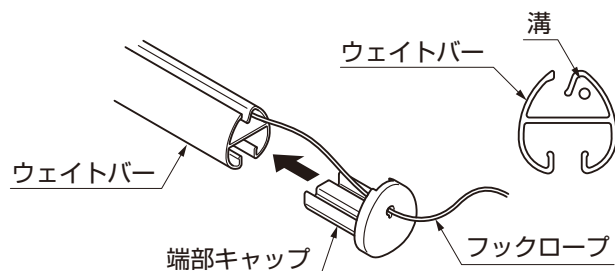
お願い

- 桁がつまると雨水が桁からあふれ落ちますので、桁にたまった落ち葉やほこりは定期的に取り除いてください。

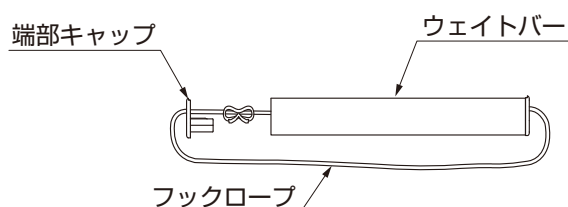
(6) ロールスクリーン、フックロープの交換方法



- ①ウェイトバーから端部キャップを取外します。
- ②結んであるフックロープをほどき、フックロープを抜きます。



- ③ウェイトバーをスクリーンから抜きます。
- ④新しいフックロープを片側の端部キャップの穴に通し、ウェイトバーの溝に這わせます。穴に通した側の端部キャップをウェイトバーに取付けます。

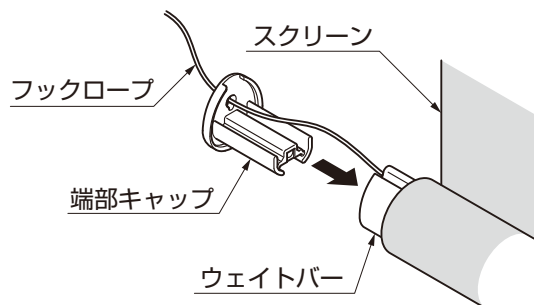


- ⑤ウェイトバーをスクリーンに戻します。
- ⑥フックロープを反対側の端部キャップに通します。
- ⑦フックロープを結びます。

補足

- フックロープの結び目は、ウェイトバー内に納めてください。

- ⑧端部キャップを、ウェイトバーに取付けます。



(7) ロールスクリーン生地交換方法

- ①ロールスクリーンは、スクリーン生地だけを取外してクリーニングすることはできません。スクリーン生地はカートリッジ式ですので、著しく汚れた場合はカートリッジごとの交換になります。お買い上げの販売店・工事店にお問い合わせください。

(8) ロールスクリーンの汚れの取り方

- ①日頃のお手入れは、ハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。
- ②スクリーンの生地の汚れは、水を充分絞ったきれいな布で軽く拭き取ってください。
- ③汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とした後で、洗剤が残らないように、よく水洗いをしてから拭き取ってください。

お願い

- シンナー、ベンジン等の有機溶剤は使用しないでください。材料が変形・変色したり、塗装がはげることがあります。
- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- あやまってアルミにキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐蝕の原因になります。

(9) ローマンシェード生地洗濯方法

お願い

- ローマンシェード生地洗濯の方法については、「ローマンシェード取扱説明書」を確認してください。

(10) パネルスクリーン 汚れの取り方

- ①スクリーン生地は種類によって洗えるものと洗えないものがあります。表を確認してください。
スクリーン名称は、パネルスクリーン本体の「通し棒」のシール表示で確認できます。

表4-1 生地一覧

名称	生地シリーズ名	布地品番・色名	材質	ウォッシュابل	防災	消臭
スクリーンA	コルト	TR7008 モスグレー	ポリエステル100%	○	○	—
スクリーンB	コルト	TR7019 ライトグレー	ポリエステル100%	○	○	—
スクリーンC	セレクト	TR7073 ネーブルオレンジ	ポリエステル100%	○	○	○
スクリーンD	セレクト	TR7076 ココア	ポリエステル100%	○	○	○
スクリーンE	セレクト	TR7079 ネイビーブルー	ポリエステル100%	○	○	○
スクリーンF	セレクト	TR7083 ペールグリーン	ポリエステル100%	○	○	○
スクリーンG	ナチュラル	TR7125 くるみ	ポリエステル100%	○	○	—
スクリーンH	ナチュラル	TR7136 キナリボーダー	綿78% アクリル22%	—	○	—
スクリーンI	コトネ	TR7141 木枯茶	タテ：ポリエステル100% ヨコ：沙織糸76% ポリエステル24%	—	○	—
スクリーンJ	アンティーク	TR7130 茶褐	ポリエステル100%	—	○	—

- ②ウォッシュابل表示の生地は下にしたがって洗濯ができます。

表4-2 洗濯記号

	洗い方 (水洗い)	塩素漂白の 可否	アイロンのかけ方	ドライ クリーニング	絞り方	干し方
スクリーンを外して、ご家庭の洗濯機で手軽に洗えるスクリーン。脱水後、アイロンをかけるときれいに仕上がります。						
	液温は30℃を限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗いがよい。	塩素系漂白剤による漂白はできない。	アイロンは160℃を限度とし、中程度の温度(140℃～160℃)まで、あて布をしなければならぬ。	ドライクリーニングはできない。	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は、短時間で絞るのがよい。	日陰のつり干しがよい。

- ③ウォッシュابل以外の生地はハタキやハンドモップなどでホコリを落としてください。

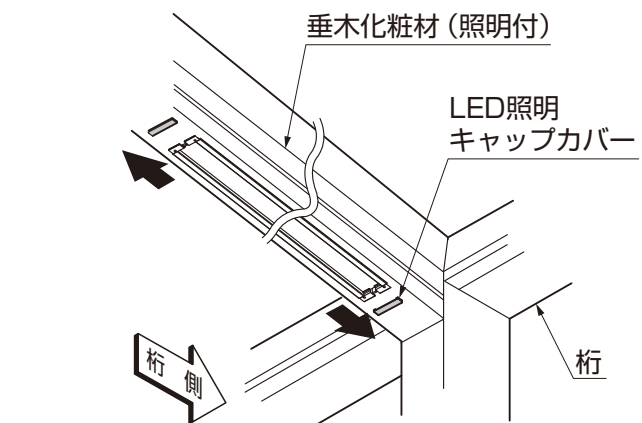
(11) LEDユニットの汚れの取り方

- ①6ヶ月に1回を目安にして清掃、点検をしてください。
a.汚れのひどい場合には、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞って拭き取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

お願い

- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけないでください。変色・破損・劣化の原因になります。

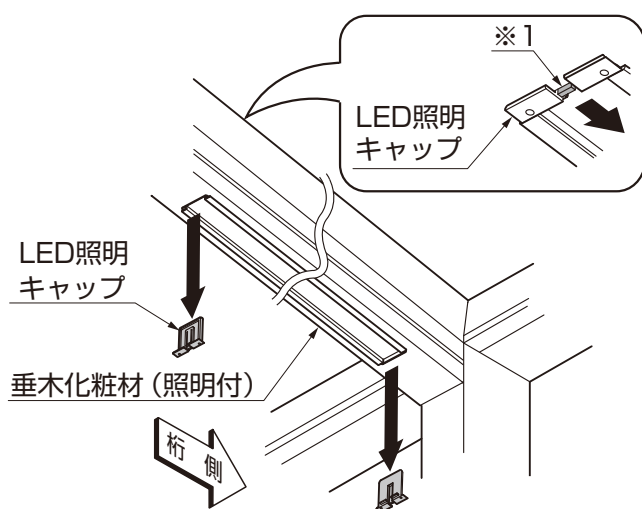
(12) LEDユニットの取外し方



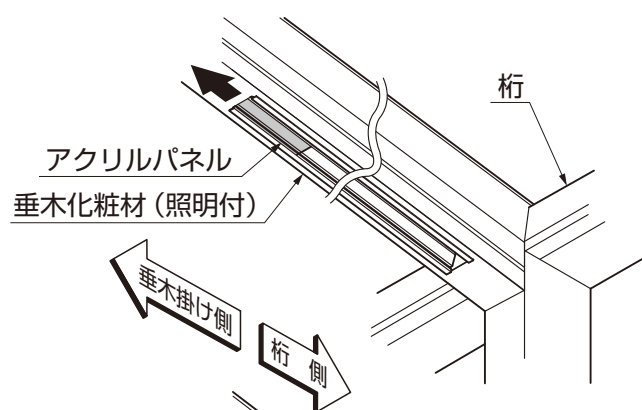
補足

●LEDユニットは、メンテナンスのため取外すことができます。

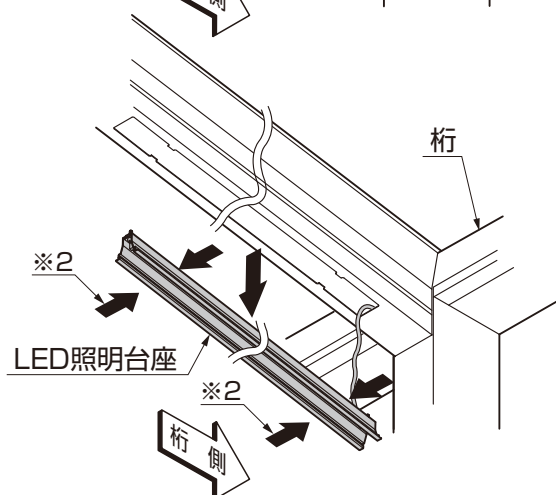
①LED照明キャップカバーを、スライドして取外します。



②突起部 (※1) を矢印方向に押しながら、LED照明 キャップを取外します。

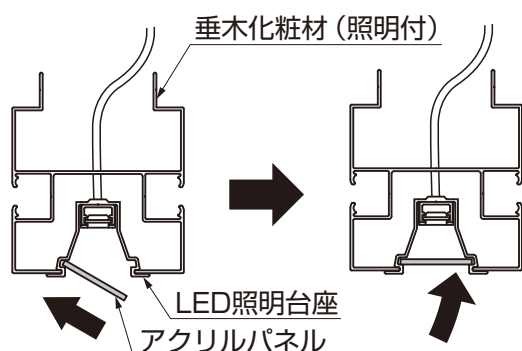


③亚克力パネルを、垂木掛け側にずらして取外します。



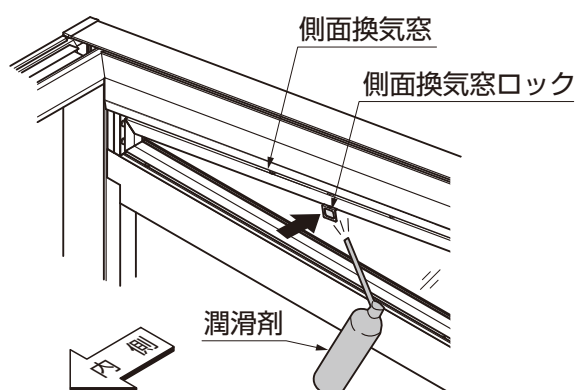
④LED照明台座の図の位置 (※2) を押しながら、垂木化粧材 (照明付) からLED照明を取外します。

(13) LEDユニットの取付け方



- ①LEDユニットの取付けは、アクリルパネル以外は取外し方と逆の手順で取付けます。

(14) 側面換気窓のお手入れ



- ①側面換気窓の開閉がスムーズでなくなったときは、市販のスプレー式潤滑剤（シリコン系）を側面換気窓ロックのスプリング部分に2～3秒吹き付けます。

補足

- 必ずシリコン系潤滑剤をご使用ください。
シリコン系以外の潤滑剤を吹き付けるとフィックスパネル等樹脂部分の劣化の原因になります。

(15) スクリーン生地制作

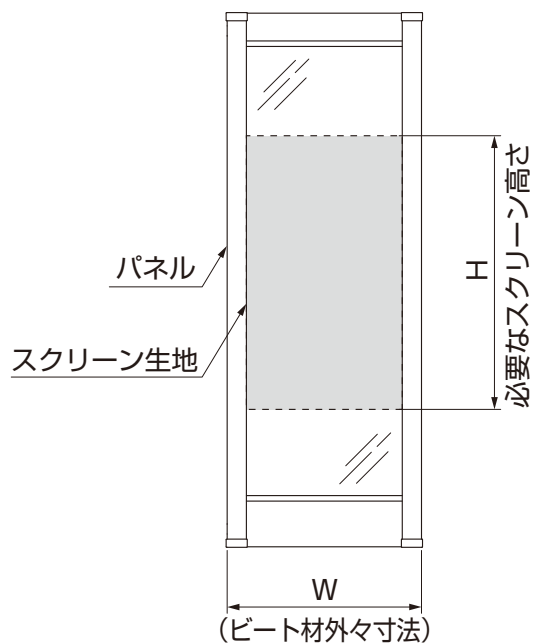
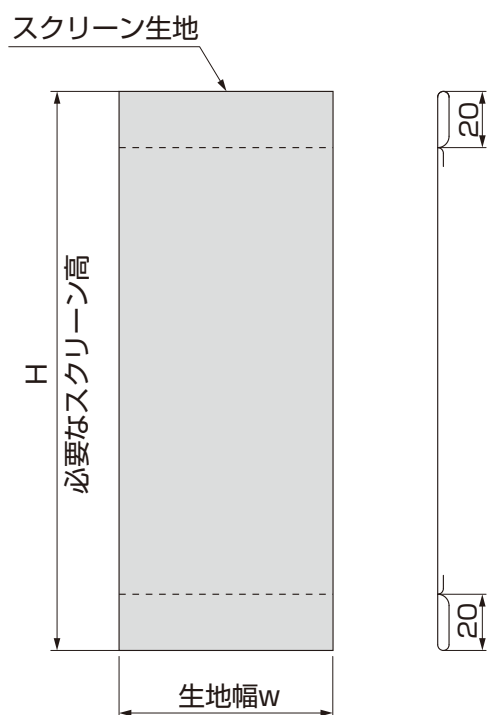


表4-3

	W	生地幅w
パネル (1)	455mm	345mm
パネル (2)	396mm	285mm
パネル (3)	335mm	225mm



補 足

- お好みの生地でスクリーン生地を作れます。

① 必要なスクリーン高さHを決めます。

② パネルの幅を測り、左表より生地幅を確認します。

③ 布の上下に20mmの大きさの輪ができるよう縫います。

5 修理を依頼する前に

- 故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
折戸パネルがスムーズに開閉しない	下レールの溝内にゴミや小石などありませんか	下レール溝内を清掃してください （「4 お手入れについて」参照）
	上ローラー・折戸パネルの滑りが悪くありませんか	上ローラー・折戸パネルに潤滑剤を吹付けてください （「4 お手入れについて」参照）
	積雪量が20cmを超えていませんか （積雪地仕様の場合は50cm）	雪下ろしをしてください （「1 安全のために必ず守ってください」参照）
桁先から雨水が垂れる	雨樋が枯葉などでつまっていませんか	雨樋を清掃してください （「4 お手入れについて」参照）

6 修 理

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ の 他	

- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

（1）点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - ・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - ・部品代は、修理に使用した部品代です。
 - ・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

（2）交換用部品について

- お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎0120-126-001
にご連絡ください。

7 LED照明ユニットの仕様

項 目	使 用
使用電圧	DC12V
消費電力	1.7W

8 別売り品

●下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- ・ 緑のカーテン
- ・ カウンターテーブル
- ・ 内部日除け
- ・ 竿掛けセットS
- ・ ロールスクリーン
- ・ ローマンシェード
- ・ カーテンレール
- ・ 可動竿掛け
- ・ 収納式竿掛け
- ・ 可動ルーバーパネル
- ・ クリーンハンガー
着脱式物干し用ハンガーとしてご利用いただけます。
- ・ 補修塗料（アルミ型材用）
あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。
- ・ 木材保護塗料
- ・ パネルスクリーン
- ・ スロープ

ココマ 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話 ()	

株式会社 LIXIL

- 保証者**
株式会社LIXIL
- 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
- ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料いたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。

※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

会社や商品についての情報の確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433

<https://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

取説コード

UE061

YBQ610995H
200603A_1039
2023061_1047